

科目名	美術 Art	科目コード	10370
-----	-----------	-------	-------

学科名・学年	全学科・1年
担当教員	本多 康夫
区分・単位数	履修単位科目・必履修・2単位
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義56，演習0，実験0，その他4】
教科書	
補助教材	色鉛筆36色、超軽量紙粘土、筆、30°刃カッター等制作用具一式。 課題によっては参考資料配布
参考書	

【A．科目の概要と関連性】

デザインを中心に新しい発想方法に重点を置き、発想する事、手仕事の大切さ、物作りのおもしろさを体得する。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
自然から感じる五感の全てが美術（デザイン）に深く通じていることを理解し、美的創作表現を通して新しい自分を探し出すこと。		(a1)

【C．履修上の注意】

常に様々な視点からの新鮮なアイデアに心掛け美術館等へも出かけ鑑賞を通し感性を磨くこと。上手下手よりも発想段階、制作過程でのまじめな取組と作品の完成度を評価する。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

作品の評価（80%）

定期試験・その他（20%）

【E . 授業計画・内容】

前期

回	内容	備考
1	折り紙による高度な折方の習得（手仕事の基本）	
2	”	
3	”	
4	平面作品の創作……立方体の再構成（アイデア）	
5	”	
6	”	
7	前期中間試験	試験時間：50分
8	”	
9	平面作品の創作……立方体の再構成（色鉛筆）	
10	”	
11	”	
12	”	
13	立体作品の創作……紙粘土による（卵の型作り）	
14	”	
-	前期末試験	試験時間：50分
15	”	（授業の進み具合をみて細密描写を加える場合あり）

後期

回	内容	備考
1	立体作品の創作……紙粘土による（卵のデザイン）	
2	”	
3	”	
4	”	
5	”	
6	”	
7	”	
8	後期中間試験	試験時間：50分
9	”	
10	”……切絵による（新生物のデザイン）	
11	”	
12	”	
13	平面作品の創作……ミニイラスト（四コマ）	
14	”	
-	後期末試験	試験時間：50分
15	”	